

2007年春(3月～5月)の東北地方の天候

- ・ 寡照
- ・ 気温の変動が大きい

(1) 2007年春(3月～5月)の天候

東北地方は10日から20日程度の周期で寒気が流れ込み気温の変動が大きかった。3月はじめと3月下旬、5月上旬は気温が高かったが、3月中旬には冬型の気圧配置の影響を受け、4月には寒気が入ることが多かったため低温となり、春(3月から5月)平均気温は平年並となった。また、短い周期で北日本を低気圧が通過したため、平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く3か月間日照時間はかなり少なかったが、低気圧は発達しなかったため降水量は平年並となった。

3か月平均気温は東北地方で平年並。3か月降水量は東北地方で平年並。3か月間日照時間は東北地方でかなり少ない。

3月：この期間、低気圧や寒気の影響を受けたため、晴れの日が少なく日照時間は少なかった。新庄と酒田では月間日照時間の少ないほうからの1位の記録となった。上旬・下旬は日本海の低気圧に向かって暖かい空気が入り込むことが多く気温が高かったが、中旬は寒気が南下し冬型の気圧配置となる日が続いたため気温が低く、気温の変動が大きかった。

月平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。月間日照時間は、東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。月降雪量平年比は東北日本海側で99%と平年並、東北太平洋側で48%と少ない。

4月：この期間、低気圧や前線の影響を受けたため、晴れの日が少なく日照時間は少なかった。また、低気圧や前線の通過後には寒気が入ることが多く、気温は平年を下回った。

桜の開花は東北南部で平年より早いところが多く、福島、小名浜など平年に比べてかなり早いところもあったが、東北北部では平年並のところが多かった。

月平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で低い。月降水量は東北北部で平年並、東北南部で少ない。月間日照時間は、東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり少ない。

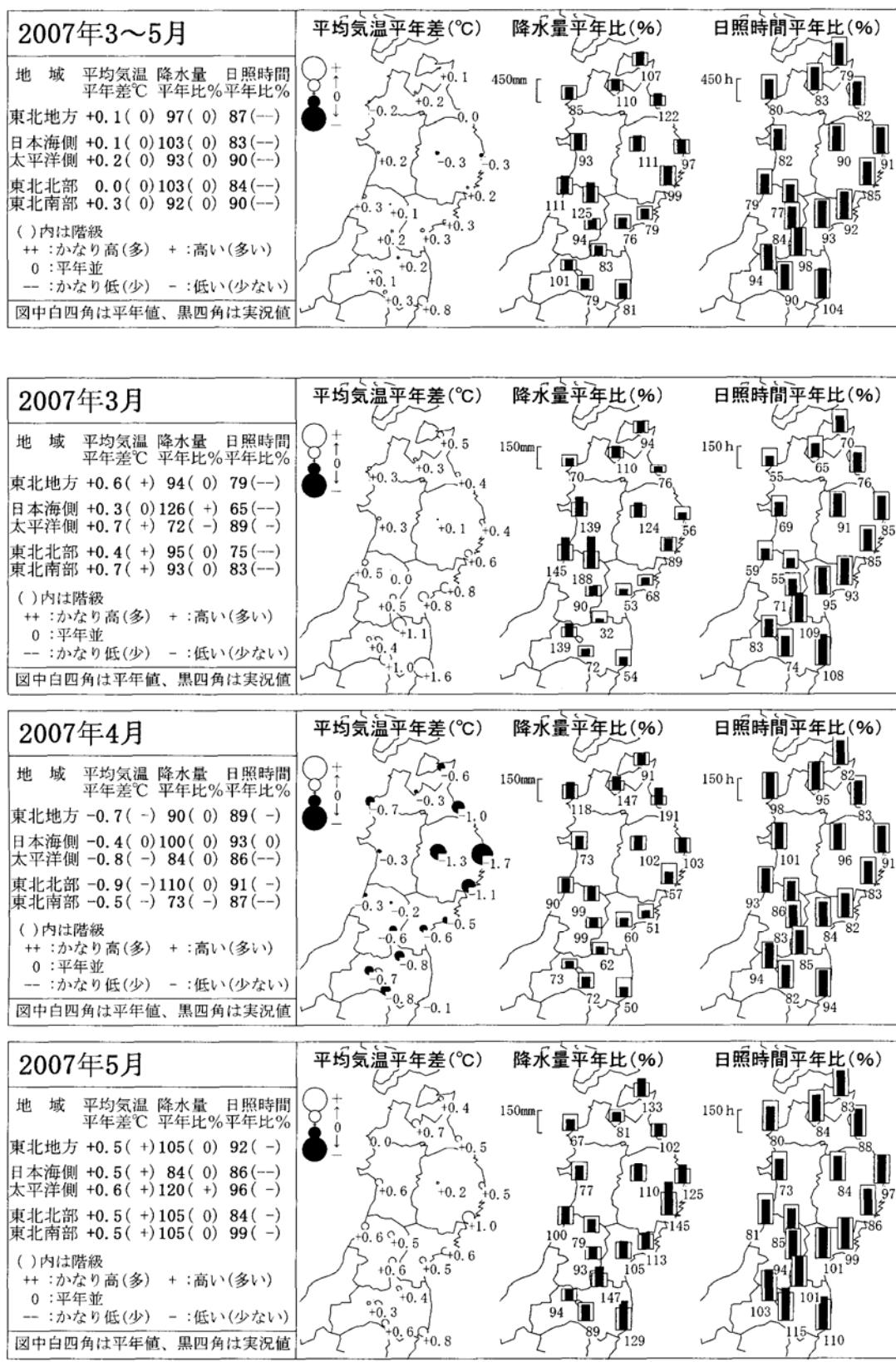
5月：この期間、北日本付近を低気圧が頻繁に通過したため、東北地方は、東北日本海側を中心に曇りや雨の日が多かった。また、上旬を中心に北日本を通過した低気圧に向かって暖気が入ったため、平均気温は高かった。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北日本海側で平年並で、東北太平洋側で多い。月間日照時間は、東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

(2) 2007年春(3月～5月)の季節・月平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

注) 東北日本海側：青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方

東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(3) 2007年春(3月～5月)の気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			≥1mm	(h)	
青 森	7.9	(+0.2)	○	229.5	(110)	+	43	447.3	(83)	—*
深 浦	7.8	(-0.2)	○	237.5	(85)	—	37	393.9	(80)	—*
む つ	7.0	(+0.1)	○	269.0	(107)	+	40	437.5	(79)	—*
八 戸	7.9	(0.0)	○	237.5	(122)	+	35	474.6	(82)	—*
秋 田	9.1	(+0.2)	○	310.0	(93)	—	43	409.8	(82)	—*
盛 岡	7.7	(-0.3)	○	309.0	(111)	+	37	483.5	(90)	—
大 船 渡	8.9	(+0.2)	○	377.5	(99)	○	32	458.4	(85)	—*
宮 古	8.0	(-0.3)	—	271.0	(97)	○	29	518.4	(91)	—
仙 台	10.1	(+0.3)	○	211.5	(76)	—	22	533.5	(93)	—
石 卷	9.3	(+0.3)	○	205.5	(79)	—	21	539.4	(92)	—
山 形	9.6	(+0.2)	○	204.0	(95)	○	31	442.5	(84)	—*
新 庄	8.2	(+0.1)	○	392.5	(125)	+*	48	347.2	(77)	—*
酒 田	9.9	(+0.3)	○	362.5	(111)	+	45	395.1	(79)	—*
福 島	11.1	(+0.2)	○	203.0	(83)	—	21	556.6	(98)	○
若 松	9.5	(+0.1)	○	210.5	(101)	○	33	485.0	(94)	—
白 河	9.7	(+0.3)	○	230.5	(79)	—	33	501.9	(90)	—
小 名 浜	11.6	(+0.8)	+	310.5	(81)	—	27	595.4	(104)	○

(注) 1. 平年値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

+:高い(多い)

○:平年並

-:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、階級が「高い(多い)」「低い(少ない)」となった地点のうち、1971～2000年間の中で、高い(多い)方または低い(少ない)方から10%に入る極端な値である場合には、階級の「+—」に*を付加した。この場合には

かなり高い(多い)

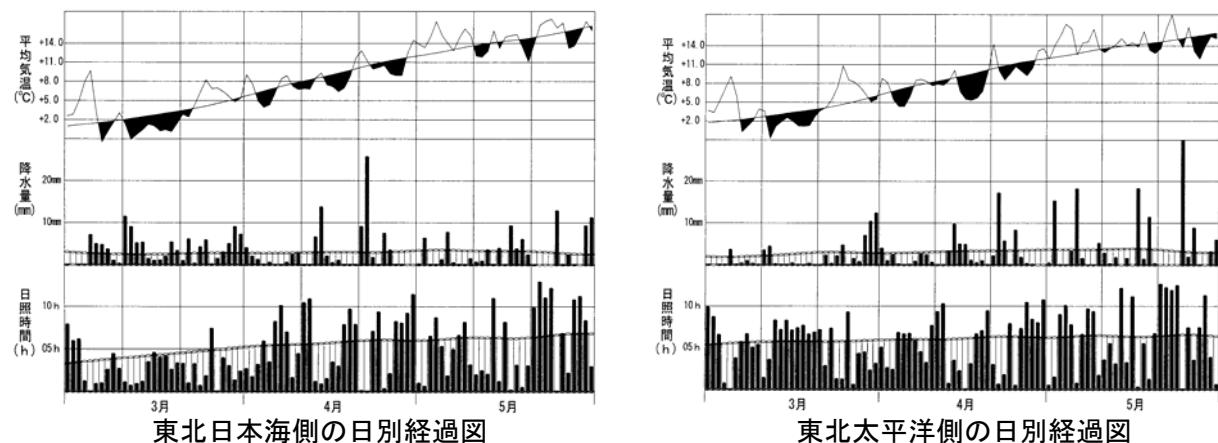
かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に)や]がある場合には、3か月別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準完全値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計月数(統計に用いた、品質が十分な月別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(4) 2007年春(3月～5月)の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(5) 2007年春(3月～5月)の極値・順位更新

(3か月平均気温、3か月間降水量、3か月間日照時間、降雪の深さ3か月間合計値の3位以内のみ)

3か月間日照時間少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間	平年比	これまでの最小	開始年	平年値
		h	%	h (西暦年)		h
1位	新庄	347.2	77	365.1 (2000)	1958	448.2
	酒田	395.1	79	395.9 (2006)	1937	497.8
2位	八戸	474.6	82	450.7 (1955)	1937	575.6
3位	むつ	437.5	79	405.7 (2000)	1935	555.8

(6) 月統計値の極値更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、月最深積雪(大きい方)、月降雪量の1位のみ。)

月間日照時間少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間	平年比	これまでの最小	開始年	平年値
		h	%	h (西暦年)		h
3月	新庄	64.7	55	81.3 (2000)	1958	117.2
	酒田	74.1	59	87.1 (2000)	1937	126.1

降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新

順位	地点名	降雪の深さ月合計	これまでの最大	開始年	平年値
		cm	cm (西暦年)		cm
3月	酒田	65	60 (1969)	1953	43

平年値とは1971～2000年の30年間の値を平均したものである。

(7) 2007年のさくらの開花・満開

(統計期間: 1953年~2006年: 平年値は1971年~2000年)

観測地点	開花日					満開日				
	今年 (2007)	平年値	昨年 (2006)	最早/起年	最晩/起年	今年 (2007)	平年値	昨年 (2006)	最早/起年	最晩/起年
青森	4.25	4.26	5.01	4.14/2002	5.11/1984	4.29	5.01	5.06	4.16/2002	5.18/1984
八戸	4.26	4.24	4.29	4.12/1990	5.18/1984	4.29	4.28	5.02	4.16/2002	5.23/1984
盛岡	4.20	4.23	4.24	4.11/2002	5.06/1984	4.29	4.27	4.30	4.16/2002	5.09/1984
宮古	4.21	4.20	4.23	4.08/2002	5.07/1984	4.27	4.25	4.28	4.13/2002	5.19/1984
仙台	4.06	4.12	4.13	3.29/2002	4.28/1984	4.12	4.18	4.18	4.03/2002	5.03/1984
秋田	4.18	4.19	4.21	4.07/2002	4.30/1984	4.23	4.24	4.26	4.12/2002	5.08/1965
山形	4.13	4.17	4.18	4.03/2002	4.29/1984	4.19	4.21	4.23	4.06/2002	5.04/1984
酒田	4.12	4.16	4.16	4.04/2002	4.27/1984	4.19	4.20	4.21	4.08/2002	5.02/1965
福島	4.02	4.11	4.12	3.29/2002	4.25/1984	4.09	4.15	4.15	4.02/2002	4.28/1984
小名浜	3.29	4.08	4.03	3.25/2002	4.25/1984	4.05	4.14	4.11	4.01/2002	4.29/1984
深浦	---	4.26	---	4.13/1990	5.07/1984	---	5.01	---	4.20/1990	5.15/1984
むつ	---	4.29	---	4.19/1989	5.20/1984	---	5.03	---	4.22/1989	5.25/1984
大船渡	---	4.18	---	4.09/1989	5.01/1984	---	4.23	---	4.14/1990	5.07/1984
石巻	---	4.18	---	4.07/1989	5.03/1984	---	4.22	---	4.12/1990	5.06/1984
新庄	---	4.23	---	4.13/1990	5.06/1984	---	4.27	---	4.17/1990	5.11/1984
若松	---	4.16	---	4.07/1989	4.28/1984	---	4.21	---	4.11/1989	5.05/1965
白河	---	4.15	---	4.06/1954	4.28/1984	---	4.20	---	4.10/1990	5.02/1984

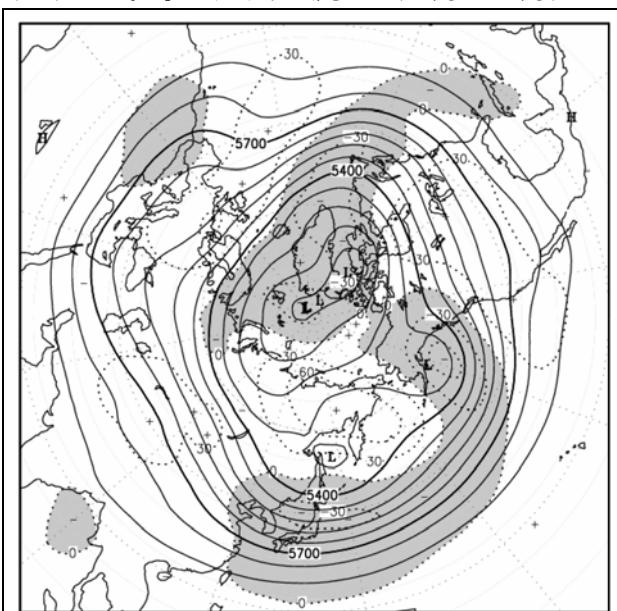
深浦以下の「最早」と「最晩」は1996年まで

深浦以下の「平年値」は1971年から観測終了年までの平均値を使用している

開花: 標本木が5~6輪開花した状態

満開: 標本木全体のつぼみの80%以上が開花した状態

(8) 北半球の大気の流れ (3月~5月)



3月~5月の平均 500hPa 高度・平年偏差図

実線は高度(m)、間隔 60m。破線は偏差(m)、間隔 30m。陰影部は負偏差域。

3月~5月の平均 500hPa 高度を見ると、高緯度は東シベリアを中心に正偏差、中緯度帯では日本付近から太平洋中部にかけては負偏差が広がり、極東では、高緯度が正偏差、中緯度側が負偏差となり、日本付近は寒気が南下しやすい大気の流れとなった。このような特徴は季節を通して見られたが、偏西風の蛇行が大きくなったり4月には特に顕著に見られた。

日本付近の大気の流れは、東経 140 度付近が気圧の谷で負偏差となっており、負偏差の中心が北緯 40 度帯にあり、上空に寒気を伴った低気圧が日本海から北日本を通過することが多かった。このため日照時間は少なかったが、南から発達しながら北上してくる形の低気圧ではなかったため、降水量は平年並となった。